

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み	行動計画
お互い様の思いやりで助け合う、自然豊かな山本校区	高齢者、障がい児・者が生き生き暮らせるまち	高齢者、障がい児・者について	高齢者の孤立防止と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が気軽に集える場所が少ない ・人との接触を好まない高齢者への声かけが難しい ・生活意欲が向上するような趣味や楽しみを持たない 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館や福祉施設のスペースを活用 ・隣近所や親しい人による見守り ・プログラムを工夫し魅力あるふれあい・いきいきサロンの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の紹介、男性料理教室の開催 ・命のバトンを活用した見守り ・ふれあい・いきいきサロンリーダー研修の充実 ・一人暮らし高齢者を対象としたお楽しみ会の開催
			認知症高齢者への理解	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の情報把握が難しい ・認知症に対する知識が乏しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と地域が連携した見守り活動 ・認知症について知識向上のための勉強会の実施 ・家族介護者のつどいを活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、ささえりあ、認知症サポーターとの連携 ・認知症徘徊模擬訓練の実施
			高齢者の体力維持と健康問題	<ul style="list-style-type: none"> ・外出機会が減少し体力維持が難しい ・高齢者が歩いて行ける範囲に集える場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康体操を取り入れたふれあい・いきいきサロンの開催 ・ふれあい・いきいきサロン一覧の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・「くまもと元気くらぶ」の立ち上げについて検討 ・社協だよりによるふれあい・いきいきサロンの広報充実
			交通（移動）手段や買い物	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーなどの店が遠く買い物が不便 ・免許返納後の移動手段の確保が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り合いタクシーを利用した交通手段の確保 ・移動販売の情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市が運行する乗り合いタクシーの利用促進 ・移動販売の利用促進
			障がい児・者に対する理解	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に対する知識が乏しく、接し方がわからない ・個人情報の問題があり情報把握が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者について知識向上のための勉強会の実施 ・機密の保持に留意した情報把握に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者相談支援センターと連携
	子どもの成長を見守り育てるまち	子ども、子育てについて	子どもの見守り、子育て世帯の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場がない ・共働き世帯やひとり親における放課後の児童の居場所がない ・親子で参加できる地域行事が少ない ・就学前の親子が気軽に集える場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育の利用、植木子育て支援センター（山本保育園内）の活用 ・校区イベント（ハイキングや夏祭り、寺子屋子ども健康まつり等）の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協だよりによる関係機関の活動紹介 ・1年を通して体験活動ができる山本塾との連携 ・各種団体が主催するイベントとの共催
			学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待、引きこもり、いじめ、不登校など外部から見つけることが難しい ・虐待としつけの判断が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の実施、学校行事への積極的参加 ・児童相談所虐待対応ダイヤル「189」の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、自治会、子供会と連携した取り組み強化 ・相談機関の情報収集と広報
	みんなで支え繋がるまち	暮らしについて	平常時における災害の備えと体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の備蓄食料の確保ができていない ・避難経路における危険箇所が把握できていない ・避難訓練ができておらず大きな災害が起きた時に不安がある ・要配慮者に対する避難支援方法がわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における備蓄食料の必要性の啓蒙活動を行う ・ハザードマップの活用 ・自主防災クラブや校区防災連絡会の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や自治会と連携し定期的な防災訓練、避難訓練の計画実施 ・災害時要援護者避難支援制度の活用
			校区内における各種団体の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の活動内容がわからない ・地域役員のなり手がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットや広報紙等で広報 ・地域役員確保の体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協だよりを活用した活動内容の周知 ・行事の見直し（スリム化）及び若者への働きかけ